学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新公共（第一学習社）						
副教材等	自作の授業プリント、視聴覚教材、ワークショップ教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、一つのテーマを軸として探求を進めていきます。一年間の間に、様々な分野を学びますが、そのすべてがこのテーマにつながっています。学習することすべてが、何かに、ひいては自分自身につながっていることを感じる学習にしてください。
講義だけではなく、ワークショップや調べ学習を行います。積極的な参加を期待します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	公共の扉	■公共的な空間を作る私たち ・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主・自立 ・多様性と共通性 ■公共的な空間における人間としての在り方生き方 ・実社会の例から考える～生命倫理～	a:人間の在り方生き方についての基本的な知識を理解することができる。 b:自分なりの意見をもち、それを相手にわかりやすく伝えることができる。 c:人間の在り方生き方について、自分事として捉え、自分の意見や考えを他者と協働しながら深めることができる。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・調べ学習によるレポート課題 ・GW後のレポート課題 ・ワークショップ後のレポート課題	・授業に対する取り組み態度 ・GWの取り組み ・ワークショップに対する取り組み
	法や規範の意義と役割	■司法参加の意義と法の役割 ・私たちと法 ・法をより良いものにするための権利 ・裁判所と司法 ・国民の司法参加	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力をつけることができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・視聴覚教材に関するレポート課題 ・模擬裁判に関するレポート課題	・授業に対する取り組み ・ワークショップに対する取り組み
	法と基本的人権	■法と基本的人権 ・法と基本的人権 ・自由に生きる権利と法・規範 ・平等に生きる権利と法・規範	a:法律と人権の関係についての基本的な知識を理解することができる。 b:基本的人権について多面的・多角的に考察したことをわかりやすく相手に伝えることができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

ステージ２	政治的な主体となる私たち	■政治参加と公正な世論形成 ・国会と立法 ・私たちと選挙 ・世論の形成と政治参加	a:政治参加に関して選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する b:グループワークや公約について資料を読み取り、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力をつけることができる。 c:模擬選挙などを通じて政治について関心を持ち、政治参加の大切さについての自覚などを深めようとすることができる。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・視聴覚教材に関するレポート課題 ・模擬選挙に関するレポート課題	・授業に対する取り組み ・模擬選挙に対する取り組み
	政治的な主体となる私たち	■国際社会と国家主権 ・国家と国際法 ・国境と領土問題 ・国際連合の役割と課題	a:国際政治などについての基本的な知識を理解することができる。 b:国際政治などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 c:国際社会に生きる公民として世界とのつながりを意識し、その自覚を深めようとすることができる。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・ワークに関するレポート課題	・授業に対する取り組み ・ワークに対する取り組み
	経済的な主体となる私たち	■財政の役割と社会保障 ・財政の仕組みと租税 ・日本の財政の課題 ・社会保障と国民福祉 ・これからの社会保障	a:財政や租税についての基本的な仕組みや概念を理解することができる。 b:日本の社会保障制度について、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力をつけることができる。 c:納税者として、社会や国の在り方や主体的に考える自覚を深めようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・視聴覚教材に関するレポート課題	・授業に対する取り組み ・模擬選挙に対する取り組み

ステージ3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	■ケーススタディ（探究活動） ・「死刑制度は廃止すべきである、是か非か」というテーマに基づいて、探究活動を行う。	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:自分なりの意見をもって、相手にわかりやすく伝えることができる。 c:他者を尊重しながら協働し、他者の意見をもとに自身の意見や考え方を深めることができる。	・グループで協働して行う作品に対する知識面の評価。	・グループで協働して行う作品に対する意見欄の評価。 ・発表内容 ・振り返りレポート課題	・グループでの取り組み態度 ・他者の意見を聞く姿勢

※　表中の観点について a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度